



## 2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月10日

上場会社名 株式会社インターアクション 上場取引所 東  
 コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木地 英雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 木地 伸雄 TEL 045-263-9220  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第2四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	3,826	△0.2	915	6.0	916	8.7	605	8.1
2019年5月期第2四半期	3,834	47.9	863	165.8	843	164.2	560	233.2

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 595百万円 (9.0%) 2019年5月期第2四半期 546百万円 (201.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	55.45	—
2019年5月期第2四半期	58.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	9,757	7,488	76.8
2019年5月期	10,388	7,306	70.3

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 7,488百万円 2019年5月期 7,306百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,889	11.3	2,122	7.2	2,109	8.5	1,395	0.7	127.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式を含む自己株式数を控除した期中平均株式数により「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期2Q	11,510,200株	2019年5月期	11,510,200株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	579,656株	2019年5月期	463,156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期2Q	10,923,038株	2019年5月期2Q	9,496,995株

(注) 当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
3. 2020年5月期第2四半期決算短信(連結)補足説明 .....	11
(1) 受注実績の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、事業セグメントを「IoT関連事業」「環境エネルギー事業」「インダストリー4.0推進事業」に分けて活動を行っております。各セグメントの事業環境は下記のとおりであります。

IOT関連事業セグメントでは、イメージセンサの生産工程における品質検査で使用する検査用光源装置及び瞳モジュールを、イメージセンサメーカー向けに製造・販売しております。

現在イメージセンサ市場では、複数台のカメラを搭載したスマートフォンの普及が進んでいることから、スマートフォンカメラ向けイメージセンサの需要が高まっております。また、中長期的には自動車の自動運転に不可欠な車載向けイメージセンサの需要も高まってくるとの予想もされております。そのため、イメージセンサメーカーでは生産キャパシティ強化のための設備投資意欲が高い状況が続いております。

環境エネルギー事業セグメントでは、大量印刷を行うための印刷機（輪転機）と一緒に使用する乾燥脱臭装置や、工場向けの排ガス処理装置を製造・販売しております。

印刷機業界は、ITの普及により新規の設備投資は縮小しているものの、輪転機の経年劣化による買換えが毎年一定数発生するほか、定期的なメンテナンス需要が存在しております。現在は競合他社がほぼ存在しないため、当社グループではこれらの需要を安定的に取込んでおります。さらに今後は、海外への展開にも力を入れていく予定であります。

インダストリー4.0推進事業セグメントでは、主にディスプレイの生産過程で支障となる振動を取り除くための除振装置をディスプレイメーカー向けに製造・販売しているほか、歯車が設計図通りの形状となっているかを調べる歯車試験機を、歯車メーカー向けに製造・販売しております。

現在フラットパネル・有機ELディスプレイ業界では、生産設備への投資が落ち着いた状況が続いているものの、メーカーの潜在的な設備投資意欲は存在していると予想しております。

また、歯車試験機は基本的に工作機械市場の状況に準じており、景気変動に左右されるものの、市場規模はほぼ横ばいの状況が続いております。歯車試験機は主に自動車産業向け製品に使用されることが多いため、自動車生産台数の増加が予想される海外での営業活動を強化しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,826百万円（前年同期比0.2%の減少）、粗利益率の改善等により、売上総利益は1,973百万円（前年同期比8.3%の増加）となりました。また、営業利益は915百万円（前年同期比6.0%の増加）、経常利益は916百万円（前年同期比8.7%の増加）、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は605百万円（前年同期比8.1%の増加）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (IoT関連事業)

引き続きスマートフォンカメラの複眼化によるイメージセンサの需要拡大を背景に、当社の主要顧客であるイメージセンサメーカーにおいて設備投資が活発となっております。そのため、当社グループの主力製品であるCCD及びCMOSイメージセンサ向け検査用光源装置及び瞳モジュールの販売が好調に推移いたしました。

受注残高については前年同期と比べ減少しておりますが、受注は顧客の発注のタイミングに依存しており、毎年決まった時期に発注が行われるものではないため、当社としては昨年度と比較して事業環境が悪化しているものではないと認識しております。

また、一部の主要顧客においては、今後設備投資が活発になると想定しております。顧客側における直近の設備投資のペースは不透明な状況ではあるものの、潜在的な設備投資需要は大きなものであると考えております。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は2,567百万円（前年同期の売上高2,195百万円に比し、17.0%の増加）、セグメント利益は1,388百万円（前年同期のセグメント利益1,089百万円に比し、27.5%の増加）となりました。

#### (環境エネルギー事業)

国内市場では、引き続き印刷業界が厳しい中、景気の低迷も重なっており、不要不急な設備投資を延期するなど、顧客の設備投資意欲が低迷しております。そのため、オフセット輪転印刷機向け乾燥脱臭装置及び排ガス処理装置の販売は低調な推移となりました。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は461百万円（前年同期の売上高604百万円に比し、23.7%の減少）、セグメント利益は12百万円（前年同期のセグメント利益56百万円に比し、77.3%の減少）となりました。

#### (インダストリー4.0推進事業)

精密除振装置においては売上比率の高い海外市場での需要が引き続き落ち着いた状況となりましたが、徐々に引き合いは増えており、需要回復に向けた動きが徐々に見え始めております。

歯車試験機においては、景気の低迷に伴って引き続き工作機械業界における設備投資意欲は低調となりました。当第2四半期連結累計期間においては、日本及び海外における展示会へ積極的に出展し、新たな顧客の開拓を中心に活動を行いました。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は798百万円(前年同期の売上高1,034百万円に比し、22.8%の減少)、セグメント利益は32百万円(前年同期のセグメント利益76百万円に比し、58.0%の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ631百万円減少し、9,757百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ533百万円減少し、8,377百万円となりました。これは、現金及び預金が464百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が209百万円、電子記録債権が631百万円、たな卸資産が179百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ97百万円減少し、1,379百万円となりました。これは、繰延税金資産(投資その他の資産「その他」)が51百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ813百万円減少し、2,268百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が163百万円、1年内を含む社債及び借入金が156百万円、未払法人税等が268百万円、前受金(流動負債「その他」)が171百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ182百万円増加し、7,488百万円となりました。これは、前事業年度の期末配当金199百万円及び自己株式の取得219百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益605百万円の計上や信託における自己株式の純減5百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ464百万円増加し、5,231百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは1,249百万円の収入(前年同期は174百万円の収入)となりました。これは、法人税等の支払額509百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益916百万円の計上や売上債権の減少667百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは111百万円の支出(前年同期は107百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出109百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは667百万円の支出(前年同期は309百万円の支出)となりました。これは、信託による自己株式の譲渡110百万円があったものの、短期及び長期の借入れによる純支出126百万円、自己株式の取得による支出418百万円、配当金の支払額199百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年10月11日公表時より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,799,286	5,264,100
受取手形及び売掛金	1,172,506	962,952
電子記録債権	1,400,050	768,554
営業投資有価証券	53,441	48,968
商品及び製品	182,607	161,081
仕掛品	873,819	636,012
原材料及び貯蔵品	429,174	508,915
その他	51,800	62,896
貸倒引当金	△51,169	△35,962
流動資産合計	8,911,516	8,377,520
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	324,178	313,000
土地	165,149	165,149
その他(純額)	214,838	225,526
有形固定資産合計	704,166	703,677
<b>無形固定資産</b>		
のれん	366,113	339,195
その他	47,373	41,793
無形固定資産合計	413,487	380,988
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	33,819	33,095
その他	330,973	266,989
貸倒引当金	△4,993	△4,844
投資その他の資産合計	359,798	295,239
固定資産合計	1,477,452	1,379,905
資産合計	10,388,969	9,757,426

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	513,562	350,495
短期借入金	70,000	100,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	335,043	280,462
未払法人税等	522,759	254,145
製品保証引当金	32,532	18,074
役員株式給付引当金	134,400	129,500
その他	691,716	480,181
流動負債合計	2,360,014	1,672,858
固定負債		
社債	150,000	120,000
長期借入金	438,606	336,414
株式給付引当金	2,644	3,246
退職給付に係る負債	91,462	87,248
資産除去債務	10,144	10,147
その他	29,128	38,520
固定負債合計	721,986	595,575
負債合計	3,082,000	2,268,434
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,760,299	1,760,299
資本剰余金	2,719,603	2,719,603
利益剰余金	3,065,143	3,471,308
自己株式	△228,185	△442,221
株主資本合計	7,316,861	7,508,989
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,893	△19,998
その他の包括利益累計額合計	△9,893	△19,998
純資産合計	7,306,968	7,488,991
負債純資産合計	10,388,969	9,757,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	3,834,186	3,826,821
売上原価	2,011,372	1,852,963
売上総利益	1,822,813	1,973,858
販売費及び一般管理費	958,846	1,058,253
営業利益	863,966	915,604
営業外収益		
受取利息	380	1,182
受取配当金	180	180
貸与資産賃貸料	6,308	6,508
為替差益	748	2,590
持分法による投資利益	894	—
その他	2,447	4,235
営業外収益合計	10,959	14,696
営業外費用		
支払利息	6,302	4,676
貸与資産諸費用	23,755	6,811
持分法による投資損失	—	667
その他	1,580	1,320
営業外費用合計	31,638	13,475
経常利益	843,286	916,824
特別利益		
固定資産売却益	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
固定資産除却損	3,589	495
固定資産売却損	—	219
特別損失合計	3,589	714
税金等調整前四半期純利益	839,704	916,110
法人税、住民税及び事業税	309,247	251,287
法人税等調整額	△29,605	59,136
法人税等合計	279,641	310,424
四半期純利益	560,062	605,686
親会社株主に帰属する四半期純利益	560,062	605,686

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	560,062	605,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,649	—
為替換算調整勘定	△11,272	△10,059
持分法適用会社に対する持分相当額	△554	△45
その他の包括利益合計	△13,476	△10,105
四半期包括利益	546,585	595,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	546,585	595,581
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	839,704	916,110
減価償却費	53,989	61,966
のれん償却額	26,917	26,917
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,930	△15,319
製品保証引当金の増減額(△は減少)	22,297	△14,458
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△41	601
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△48,067	△4,900
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,252	894
受取利息及び受取配当金	△561	△1,362
支払利息及び保証料	6,938	4,934
為替差損益(△は益)	△7,722	△304
有形固定資産除却損	3,519	495
無形固定資産除却損	70	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△7	219
たな卸資産評価損	3,655	6,802
売上債権の増減額(△は増加)	△508,657	667,711
たな卸資産の増減額(△は増加)	△155,953	166,055
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	3,635	4,472
仕入債務の増減額(△は減少)	178,686	△162,499
その他	△9,878	104,300
小計	436,708	1,762,638
利息及び配当金の受取額	561	1,362
利息及び保証料の支払額	△7,103	△4,926
法人税等の支払額	△256,023	△509,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	174,142	1,249,394
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△95,692	△109,413
有形固定資産の売却による収入	267	9
無形固定資産の取得による支出	△5,149	△3,304
敷金の差入による支出	△6,575	△2,298
敷金の回収による収入	—	3,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,150	△111,669
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110,000	30,000
長期借入れによる収入	100,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△203,607	△186,773
社債の償還による支出	△50,000	△30,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,416	△3,272
自己株式の取得による支出	△49,974	△418,405
信託による自己株式の譲渡	130,374	110,115
配当金の支払額	△125,229	△199,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,852	△667,373
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,860	△5,537
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△239,999	464,813
現金及び現金同等物の期首残高	2,220,828	4,766,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,980,829	5,231,094

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間では、当社は2019年7月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式124,300株の取得(219,841千円)を行いました。また、株式給付役員報酬信託において、当社株式117,800株の取得(198,564千円)等が行われました。

また、当第2四半期連結会計期間では、株式給付役員報酬信託において、対象者への現金給付のため当社株式の売却54,900株(89,926千円)及び対象者への株式給付69,500株(113,841千円)等が行われました。

この結果、自己株式が214,035千円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は442,221千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,195,370	604,278	1,034,537	3,834,186
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	798	798
計	2,195,370	604,278	1,035,335	3,834,984
セグメント利益	1,089,060	56,952	76,345	1,222,359

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,222,359
全社費用(注)	△355,319
セグメント間取引消去	582
たな卸資産の調整額	△3,655
四半期連結損益計算書の営業利益	863,966

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー 事業	インダストリー 4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,567,501	461,004	798,315	3,826,821
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-
計	2,567,501	461,004	798,315	3,826,821
セグメント利益	1,388,859	12,941	32,102	1,433,903

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,433,903
全社費用(注)	△512,121
セグメント間取引消去	625
たな卸資産の調整額	△6,802
四半期連結損益計算書の営業利益	915,604

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 2020年5月期第2四半期決算短信(連結)補足説明

(1) 受注実績の状況

受注実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)		増減	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
IoT関連事業	3,535,394	1,963,178	2,056,946	681,982	△1,478,448	△1,281,196
環境エネルギー事業	628,203	369,220	421,117	316,517	△207,086	△52,702
インダストリー4.0推進事業	782,822	65,517	651,842	177,376	△130,980	111,859
合計	4,946,421	2,397,915	3,129,906	1,175,876	△1,816,514	△1,222,039

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記金額には、見込み生産を行っている事業は含まれておりません。